

## 書面協議回答票

小田原市生活交通ネットワーク協議会事務局  
小田原市都市部まちづくり交通課交通政策係 行

## 協議事項

- 1 平成 30 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告・・・別紙 2 参照  
 承認する  
 承認しない（理由： \_\_\_\_\_ )
- 2 平成 30 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告・・・別紙 3 参照  
 承認する  
 承認しない（理由： \_\_\_\_\_ )
- 3 令和元年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）・・・別紙 4 参照  
 承認する  
 承認しない（理由： \_\_\_\_\_ )
- 4 令和元年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）・・・別紙 5 参照  
 承認する  
 承認しない（理由： \_\_\_\_\_ )
- 5 平成 30 年度小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の評価（案）  
・・・別紙 6 参照  
 承認する  
 承認しない（理由： \_\_\_\_\_ )

会員所属： \_\_\_\_\_

会員職名： \_\_\_\_\_

会員氏名： \_\_\_\_\_ ㊞

※本回答票を同封の返信用封筒にて御返送ください。

FAX：0 4 6 5 - 3 3 - 1 2 6 7

Email：ma-koutsu@city.odawara.kanagawa.jp

年月日	内 容
平成 30 年 8 月 23 日	<p><b>平成 30 年度第 1 回小田原市生活交通ネットワーク協議会</b> 協議事項</p> <p>(1) 平成 29 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告について (2) 平成 29 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告について (3) 平成 30 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）について (4) 平成 30 年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）について (5) 平成 29 年度小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の 評価（案）について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 橋地域における実証運行の状況について (2) まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業について (第 5 回バス de おでかけプロジェクト)</p>
平成 30 年 7 月～10 月	<p><b>まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業</b> ・「第 5 回バス de おでかけプロジェクト」の実施 (実施主体)</p> <p>バス事業者：箱根登山バス株式会社、富士急湘南バス株式会社 商 業 者：ダイナシティ、イトーヨーカドー小田原店 行 政：小田原市</p>
平成 30 年 5～11 月	<b>バス利用啓発活動 橋地域におけるイベントに参加（計 6 回）</b>
平成 30 年 9 月 19 日	<b>地域公共交通確保維持改善事業・事業評価に係る書面協議</b> (平成 31 年 10 月 5 日承認)
平成 30 年 10 月～11 月	<b>橋地域の地元自治会を対象に移動手段に関するアンケート調査実施</b>
平成 30 年 10 月 26 日	<p><b>「バスの乗り方教室」開催</b> ・山王小学校を対象に実施 (実施主体) 箱根登山バス株式会社</p>
平成 30 年 11 月 14 日	<p><b>「バスの乗り方教室」開催</b> ・下中小学校を対象に実施 (実施主体) 神奈川中央交通西株式会社</p>
平成 30 年 11 月 30 日	<p><b>「バスの乗り方教室」開催</b> ・久野小学校を対象に実施 (実施主体) 伊豆箱根バス株式会社</p>
平成 31 年 3 月 7 日	<b>地域公共交通確保維持改善事業・事業評価に係る書面協議</b> (平成 31 年 3 月 14 日承認)
平成 30 年 11 月 7 日～ 平成 31 年 1 月 8 日	<p><b>バスマップの印刷製本・関係市町村等への配布</b> (実施主体)</p> <p>酒匂川流域地域公共交通活性化検討会（小田原市及び足柄上地域 1 市 5 町）</p>

※平成 28 年 3 月から開始した橋地域における路線バス実証運行事業を平成 30 年度中も継続実施

## 平成30年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告

## 1 歳入

(単位:円)

科目	決算額	摘要
負担金	250,000	小田原市
繰越金	456,857	前年度
雑入	3	預金利子
合計	706,860	

## 2 歳出

(単位:円)

科目	決算額	摘要
会議費	63,848	報酬、旅費、需用費(食糧費・消耗品費)
事務費	36,048	旅費
事務費	168,198	役務費(アンケート調査に係る郵便料)
合計	268,094	

※歳入と歳出の差額438,766円は次年度に繰り越しとする。

## 監 査 報 告 書

小田原市生活交通ネットワーク協議会規約第 10 条第 1 項の規定により、平成 30 年度収入支出決算について監査した結果、適正なものと認めます。

令和元年 7 月 19 日

小田原市生活交通ネットワーク協議会

監事 小田原箱根商工会議所中小企業相談部経営支援課長 長田 圭司

監事 神奈川県県土整備局都市部交通企画課  
交通企画グループリーダー 土屋 知己

年月日	内 容
令和元年 5月～11月	バス利用啓発活動 橘地域におけるイベントに参加（計5回）
令和元年 8月～9月	<p>まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第6回バス de おでかけプロジェクト」の実施</li> </ul> <p>（実施主体）</p> <p>バス事業者：箱根登山バス株式会社、富士急湘南バス株式会社</p> <p>商 業 者：株式会社ダイドーフォワード、イトーヨーカドー小田原店</p> <p>行 政：小田原市</p>
令和元年 10月～11月頃	<p>「バスの乗り方教室」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山王小学校（実施主体）箱根登山バス株式会社</li> <li>・久野小学校（実施主体）伊豆箱根バス株式会社</li> <li>・下中小学校（実施主体）神奈川中央交通株式会社 で実施予定</li> </ul>
令和元年 11月	<p>令和元年度第1回小田原市生活交通ネットワーク協議会（書面により開催）</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）平成30年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業報告について</li> <li>（2）平成30年度小田原市生活交通ネットワーク協議会決算報告について</li> <li>（3）令和元年度小田原市生活交通ネットワーク協議会事業（案）について</li> <li>（4）令和元年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）について</li> <li>（5）平成30年度小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の評価（案）について</li> </ul>
(未定)	<p>令和元年度第2回小田原市生活交通ネットワーク協議会</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）橘地域における実証運行の状況について</li> <li>（2）まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業について（第6回バス de おでかけプロジェクト）</li> <li>（3）橘地域の移動手段に関するアンケート調査結果について</li> </ul>
平成31年4月～ 令和2年3月	<p>県西地域バスマップ制作に向けた検討</p> <p>（実施主体）</p> <p>神奈川県西部広域行政協議会都市交通部会</p> <p>（小田原市及び足柄上下地域1市8町）</p>

## 令和元年度小田原市生活交通ネットワーク協議会予算（案）

## 1 歳入

（単位：円）

科 目	予算額	摘 要
負担金	250,000	小田原市
繰越金	438,766	前年度からの繰越
合計	688,766	

## 2 歳出

（単位：円）

科 目	予算額	摘 要
会議費	150,000	報酬、旅費、需用費（食糧費・消耗品費）
事務費	50,000	旅費、需用費（消耗品費）
役務費	0	
予備費	488,766	
合計	688,766	

※但し、科目間の流用を認める。

平成30年度 小田原市地域公共交通総合連携計画の事業実施状況の評価(案)

事業番号	事業名	実施主体	短期 (平成27年度)	中長期 (平成34年度)	事業実施状況		H30年度 事業実 施評価	
					過年度	平成30年度		
1	主軸路線の位置づけ・主要施設へのアクセス向上 【継続的な取組】	交通事業者・行政	協議・実証運行等	実施	・下曽我駅～国府津駅間の路線バスの運行本数について、一定のサービス水準を維持するよう調整(H30.3)		-	
優先 2	乗継環境の 円滑化	①ダイヤの改善 【継続的な取組】	交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・根府川地域の路線バスについて、JR東海道本線の根府川駅到着時刻に合わせ終発時刻を調整(H29.11 1便 18:21→18:35)		-
		②機能・重要度に応じた乗継拠点の整備	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備	・中村川沿いに設置されている押切バス停への安全対策として、注意看板の設置及び減速ドットの表示を実施(H28.2 神奈川県西土木事務所対応)【一部 実施】		-
重点 3	ニーズに応じ た路線バス の改善	①利用目的・時間帯等に配慮した運行 【継続的な取組】	交通事業者・行政	協議・実証運行等	実施	・小田原駅東口発、久野方面行き路線バスについて、沿線企業の始業時間を考慮し発車時刻を調整(H29.11 1便 7:40→7:35) ・橋地域の実証運行事業において、利用者の多い朝夕の時間帯の運行本数を維持し利用者の少ない昼間時間帯を減便するなど、地域ニーズを踏まえつつ 採算性を考慮した再編を実施(H29.9)	・橋地域における路線バスの実証運行と利用啓発活動を実施 ・前羽及び橋北連合自治会の全世帯を対象に移動手段に関するアンケート調査を実施(H30.10.15～H30.11.9)	A
		②おでかけ品質確保・向上のためのルールづくり 【継続的な取組】	市民・交通事業者・行政	協議後、一部実施	継続的实施	・おでかけ品質確保・向上のためのルールを市ホームページ上で公開(H28.4)【継続的实施】		A
最優 先 4	分かりやす い情報提供	①バス停・行き先案内等の統一化	交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施			C
		②主要バス停における共通時刻表・路線図・運賃表の掲出	交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・「銀座通り」バス停新設(3社統一バスポールの設置、商店会の協力)(H26.11)【一部実施】 ・ハルネ小田原におけるバス時刻表の統一化の実施(H26.11)【一部実施】		-
		③小田原駅における案内サインの改善・案内所の一元化	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備	・平成28年度に実施した「小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査」に基づき、令和元年度に小田原駅東西自由連絡通路等情報案内板整備に向け、関係機関と調整		B
		④駅前広場のレイアウト等の見直し	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備	・小田原駅西口広場において、バス・タクシー降車場の路面表示の改善舗装を実施(H28.3)【一部実施】		-
		⑤バスマップの作成・配布【継続的な取組】	交通事業者・行政	継続的实施	継続的实施	・バスマップの配布(H30年度改訂、12月配布)【継続的实施】		A
		⑥インターネットの活用等による情報提供の充実 【継続的な取組】	交通事業者・行政	協議後、実施	継続的实施	・橋地域のバス路線再編(H29.9)に伴うダイヤ改正について、市ホームページへ掲載【継続的实施】		A
5	バリアフリー 化の促進	①ノンステップバス・UDタクシーの導入推進 【継続的な取組】	交通事業者・行政	継続的实施	継続的实施	・平成30年度UDタクシーの導入3台【継続的实施】		A
		②バス停・バス停までのルートのバリアフリー化 【継続的な取組】	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備			C
6	路線バスの 走行環境の 向上	①駅前広場における路線バスの優先性の確保 等【継続的な取組】	交通事業者・行政	協議後、順次整備	順次整備	・小田原駅西口広場において、バス・タクシー降車場の路面表示の改善舗装を実施(H28.3)【一部実施】		-
		②路線バス走行環境を支援する施策の展開 【継続的な取組】	交通事業者・行政	協議、実証実験等	実施			C
7	利用促進・交 通需要マネ ジメント	①児童・保護者を対象としたバスの乗り方教室、 児童作品の車内展示等【継続的な取組】	市民・交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・バスの乗り方教室の実施(箱根登山バス:山王小(H30.10)、伊豆箱根バス:久野小(H30.11)、神奈川中央交通西:下中小(H30.11))【継続的实施】		A
		②商業施設・公共施設と連携した特典サービス の実施等【継続的な取組】	企業・交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・大型商業施設であるダイナシティ内の店舗と当該商業施設に乗入れているバス事業者がタイアップし、「バスdeおでかけプロジェクト」を実施【継続的实施】(H30.7.14～10.14)		A
		③企業と連携したエコ通勤の推進等 【継続的な取組】	企業・交通事業者・行政	協議後、一部実施	実施	・西湘テクノパーク企業連絡協議会に対して利用啓発と路線バス時刻表の配布を実施(H29.9)【継続的实施】 ・橋商工会広報誌による実証運行の利用状況の報告と利用啓発の実施(H30.3)【継続的实施】		-

凡例 A:実施 B:一部実施・協議・検討中 C:未実施

【平成30年度に実施した主な事業】

(事業番号 重点3-①) 橋地域の実証運行事業において実証運行の実施と、前羽及び橋北連合自治会の全世帯を対象に移動手段に関するアンケート調査を実施

(事業番号 最優先4-③) 平成28年度に実施した「小田原駅周辺・訪日外国人旅行者等が移動を円滑に行うための交通サービスに関する調査」に基づき、小田原駅東西自由連絡通路等に設置している情報案内板の改修に向け関係機関と調整

(事業番号 7-①) バスの乗り方教室について、新たに下中小学校(神奈川中央交通西株式会社)を加え、3校を対象に実施

(事業番号 7-②) 大型商業施設の店舗と当該商業施設に乗入れているバス事業者(箱根登山バス株式会社、富士急湘南バス株式会社)がタイアップし、「バスdeおでかけプロジェクト」を実施